

新しい議長・副議長が決定

6月19日の定例会最終日に、岩澤議長から議長辞職願が、石井副議長から副議長辞職願がそれぞれ提出されました。議長及び副議長の選挙を行い、投票の結果、山野井議員が議長に、小堤議員が副議長に就任しました。新しい議長・副議長の氏名や今後の抱負などをご紹介します。

新議長

やまのい たかし
山野井 隆

年齢：51歳
会派：みらい
住所：白山2-10-11
電話：72-2573

開かれた議会から一歩進み、市民にとって「頼もしい議会」を目指します。

インフラの予防保全や地域経済の底上げに加え、防犯対策、特に子どもたちの通学時の安全確保は喫緊の課題です。通学路の整備や見守りの仕組みづくりなど、安心して暮らせるまちの実現に向けて、現場の声を政策に反映し、実効性ある取り組みを進めてまいります。

有意義な研修を取り入れ、議員一人一人の知見を高め、議会全体の力を底上げしてまいります。

今後も、分かりやすく無駄のない情報発信を心がけ、市民の皆さまと共に歩む議会を築いてまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。



新副議長

こづみ おさむ
小堤 修

年齢：63歳
会派：創和会
住所：上高井440-3
電話：78-8229

行政は、取手市の人口減少や少子高齢化が急速に進む中、こどもまんなか社会の実現や各種福祉施策等を積極的に推進しており、市議会においてもそれら推進事項の実現に向けて鋭意取り組んでいるところです。

このようなことから、私は議長を補佐するとともに議長と議員の間に立ち、皆さまの代表者である各議員の意見をまとめ、一致団結した議会、さらに躍動的な議会になるよう努めてまいります。議会と行政は、常に市民ニーズに耳を傾け、同じ未来を向いて進むことが大切です。それは、皆さまの豊かな生活向上、取手市の発展、住み続けるほど好きになるまちづくりであり、各議員が精一杯活動できるよう、私は副議長の職に尽力していく所存です。



「駅前のにぎわいの創出」について先進地視察

建設経済常任委員会が「駅前のにぎわいの創出」について調査するため、兵庫県明石市、新潟県長岡市、埼玉県さいたま市、群馬県太田市に、3～4名の委員をそれぞれ派遣しました。



取手市議会では、令和2年度から、従前の委員会全員による遠隔地への先進地視察をやめて、委員会を代表した数名を派遣することにより、旅費の削減を図っています。

派遣された委員はタブレットを現地に持参し、Zoom（オンライン会議アプリ）を使って、取手市役所や自宅にいる議員をオンラインでつなぎます。これによって、派遣された委員以外の議員や取手市の関係部署の職員が、オンラインで視察に参加することができます。ICTを活用することで、経費を削減しつつ、今まで以上に多くの議員・職員が視察に参加することができ、効果的・効率的に調査を実施することができました。

